

〈共通論題〉

テーマ：東日本大震災後の復興のための金融・資本市場の課題

座長 一橋大学 小川 英治

共通論題の主旨

東日本大震災の復興策を検討する政府の復興構想会議では復興財源となる「復興債」の償還財源として臨時増税による収入をあてる方針を確認している。また、被災自治体向けに新たな交付金や基金を創設することや、特区制度の活用も掲げられている。

共通論題では報告者の4氏のうち、伊藤隆敏氏からは今回の東日本大震災と福島原発による被害推計と復興プランについての提言、河合正弘氏からはアジア諸国の過去の被災で作られた国際的な「アジア津波其金」などの事例研究、土居丈朗氏からは財政の側面から見た復興債の発行や復興税のありかた、関雄太氏からは復興に際しての民間ファンドやPFIの活用、などを軸として報告が行われる。

また、討論者の2氏のうち鴨池治氏からは、今回の東日本大震災の被災地の立場から、また地主敏樹氏からは1995年1月に発生した阪神・淡路大震災からの復興経験を踏まえ、それぞれの研究の知見により、報告者4氏の報告についての討論がなされる。

共通論題では、以上の報告・討論から東日本大震災後の復興のための金融・資本市場の課題を明らかにするとともに、日本の復興にむけた道筋を探りたい。